

次の100年も・・・ここに商工会!!

●第128回(平成23年度第1回)●

中小企業景況調査報告書

栃木県商工会地区

平成23年 4月～ 6月・報告

平成23年 7月～ 9月・予想



次の100年も
・・・ここに商工会

栃木県商工会連合会

目 次

	頁
1. 栃木県産業全体の景況概要	3
栃木県と全国の業況D I 推移を比較 ・ 図 1	
県内産業別の業況D I 推移を比較 ・ ・ 図 2	
2. 製造業の景況	4
主要景況項目の推移	・ ・ ・ 図 3
売上額(加工高)の状況	・ ・ ・ 図 4
採算(経常利益)の状況	・ ・ ・ 図 5
設備投資の状況	・ ・ ・ 図 6
経営上の問題点の状況	・ ・ ・ 図 7
3. 建設業の景況	7
主要景況項目の推移	・ ・ ・ 図 8
売上額(完成工事高)の状況	・ ・ ・ 図 9
採算(経常利益)の状況	・ ・ ・ 図10
設備投資の状況	・ ・ ・ 図11
経営上の問題点の状況	・ ・ ・ 図12
4. 小売業の景況	10
主要景況項目の推移	・ ・ ・ 図13
売上額の状況	・ ・ ・ 図14
採算(経常利益)の状況	・ ・ ・ 図15
設備投資の状況	・ ・ ・ 図16
経営上の問題点の状況	・ ・ ・ 図17
5. サービス業の景況	13
主要景況項目の推移	・ ・ ・ 図18
売上額(収入高)の状況	・ ・ ・ 図19
採算(経常利益)の状況	・ ・ ・ 図20
設備投資の状況	・ ・ ・ 図21
経営上の問題点の状況	・ ・ ・ 図22
6. 調査対象事業所の内容	16
参考 中小企業基盤整備機構 第124回 中小企業景況調査 ニュースリリース	
[中小企業の業況判断DIの推移]	17

○D I 指数とは

本文中やグラフ中に登場するD I 値とは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

例えば、売上額で増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%の場合、D I 指数は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを表している。

〔 調 査 要 領 〕

○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置して、地域の産業の状況等地域の経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を収集、提供して、経営改善普及事業の実施に資するものとする。

本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の業種を、主要景況項目（売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り）から分析し、景況情報をまとめたものである。

○調査対象地区

栃木県下の10商工会地区

栗野・にのみや・益子町・市貝町・石橋・桑絹
藤岡町・塩谷町・喜連川・那須塩原市

○調査対象

対象企業数：上記商工会地区の150企業（1商工会15企業）

回答企業数：150企業（回答率100.0%）

○調査時点

平成23年 6月 1日

○調査対象期間

平成23年4月～6月期の実績及び、平成23年7月～9月期の見通しについて調査。

○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査。

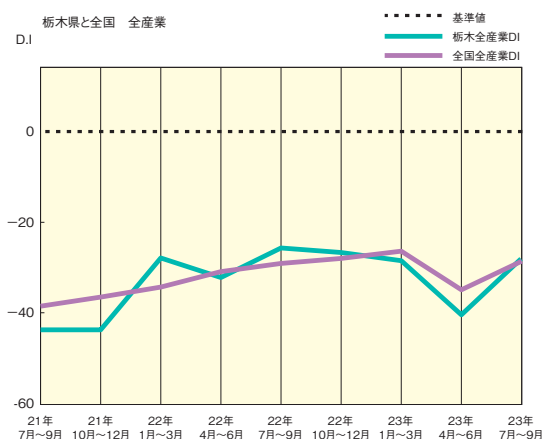
○回答企業数内訳

産 業	回答企業数	構成比(%)
製 造 業	30	20.0
建 設 業	23	15.3
小 売 業	40	26.7
サ ー ビ ス 業	57	38.0
合 計	150	100.0

1. 栃木県産業全体の景況概要

〈栃木県と全国の業況D I 推移を比較〉

「中小企業の業況は若干の不安感がうかがえる」(前期比) 図1



今期の中小企業の業況は、「東日本大震災」の影響を受け、下振れで推移した。特に、自粛ムードの影響もあってか、小売業の下げ幅が目立った。

なお、栃木県内の業況D I は、-40.3ポイントと前期(-28.4ポイント)と比べ11.9ポイント低下した。

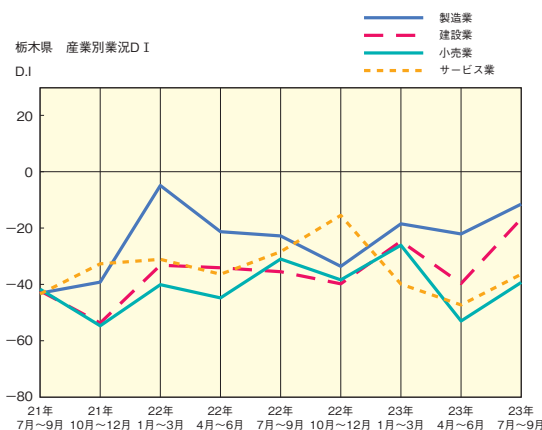
来期の見通し(7月~9月)では、全国業況および栃木県業況ともに、D I 値は改善を予想している。

※全国業況D I は、独立行政法人中小企業基盤整備機構が公表するニュースリリースから、栃木県業況D I は、商工会議所・中小企業団体中央会が実施する中小企業景況調査を含めた値を利用してグラフ化した。

それぞれ調査時点は同日である。

〈県内産業別の業況D I 推移を比較〉

「小売業で下降(マイナス幅が拡大)」(前年同期比) 図2



「小売業」でD I 値の前期比が26.9ポイント(-26.1ポイント→-53.0ポイント)と大きく低下(マイナス幅が拡大)した。

また、「製造業」「建設業」「サービス業」とともにD I 値が低下している。

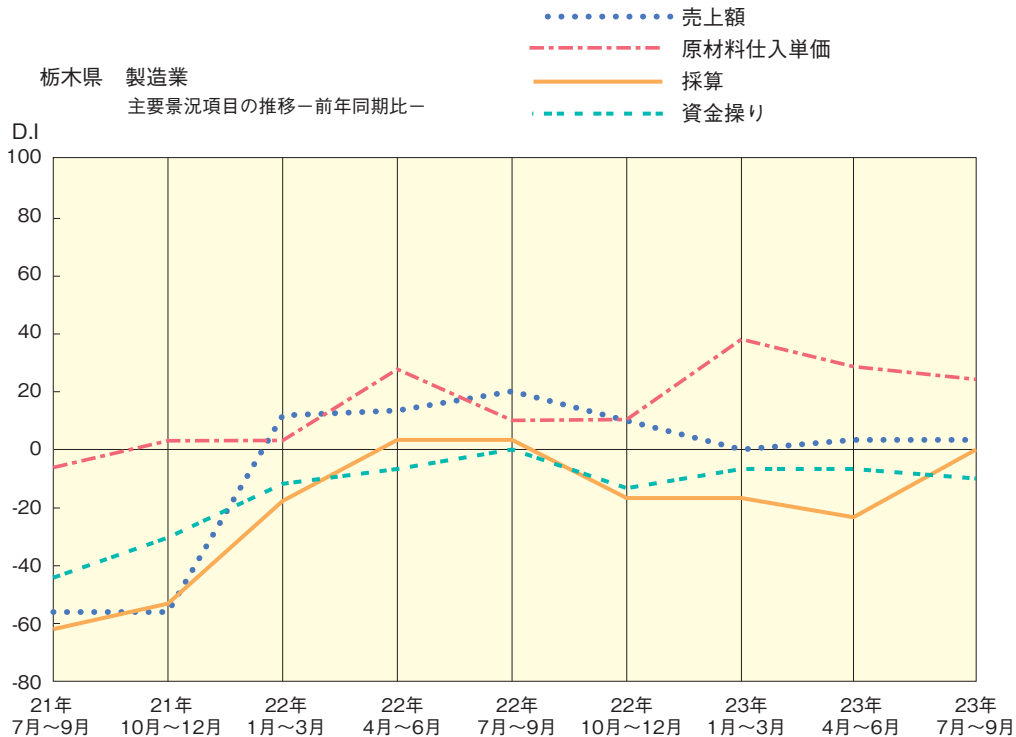
来期の見通しでは、全業種でD I 値の上昇を予想している。

2. 製造業の景況

—主要景況項目の推移—

「売上は持ち直し感があるが、採算は悪化傾向」

製造業 主要項目の推移（前年同期比） 図3



「売上額(加工高)」は、今期上昇し、D I 値は+3.3ポイント(0.0ポイント→3.3ポイント)となった。また、「原材料仕入単価」は、+28.5ポイント(37.9ポイント→28.5ポイント)と低下した。一方、「採算(経常利益)」は、-23.3ポイント(-16.7ポイント→-23.3ポイント)と悪化傾向を示している。

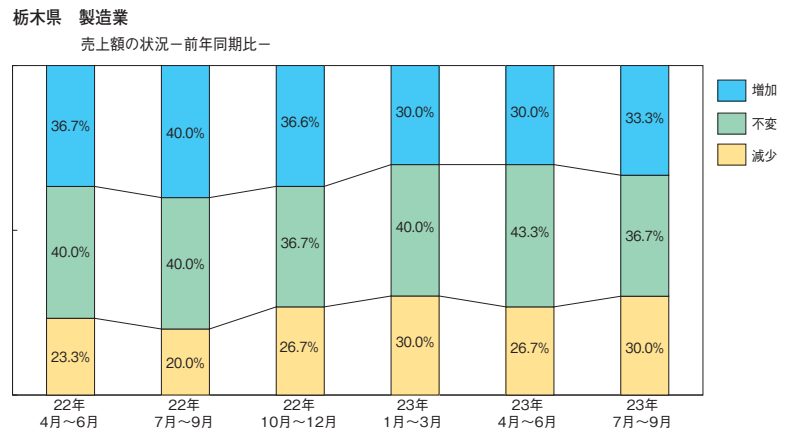
来期の見通しでは、「採算(経常利益)」が大幅な増加に転じるが、「資金繰り」はさらに悪化すると予想している。

－売上額(加工高)－

売上額(加工高)の状況(前年同期比) 図4

今期D I 値の内訳を見ると、減少企業が26.7%、増加企業が30.0%で、D I 値は前期と比べ、3.3ポイント上昇した。(0.0ポイント→3.3ポイント)

来期の見通しは、売上減少と予想する企業がやや増えている(26.7%→30.0%) が、売上増加と予想する企業も増加(30.0%→33.3%) していることから、改善傾向を維持すると予想している。

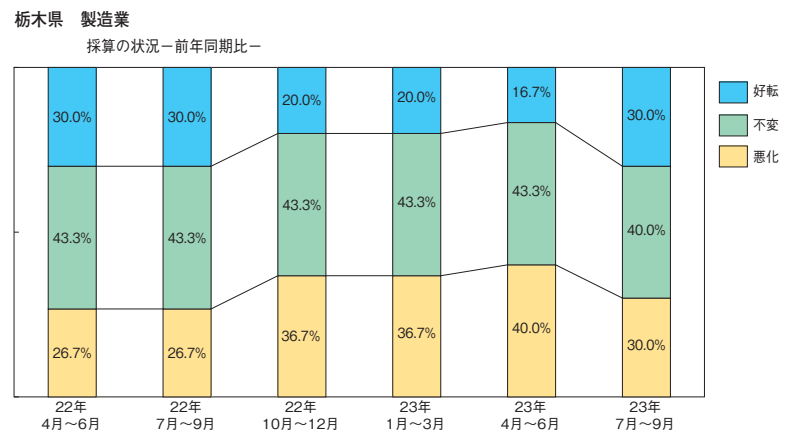


－採算(経常利益)－

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図5

今期D I 値の内訳を見ると、悪化企業が40.0%、好転企業が16.7%と、D I 値は前期より6.6ポイント低下した。(16.7ポイント→23.3ポイント)

来期の見通しは、悪化企業が30.0%、好転企業も30.0%で、D I 値0.0ポイントと、一転して大幅に改善するとみている。

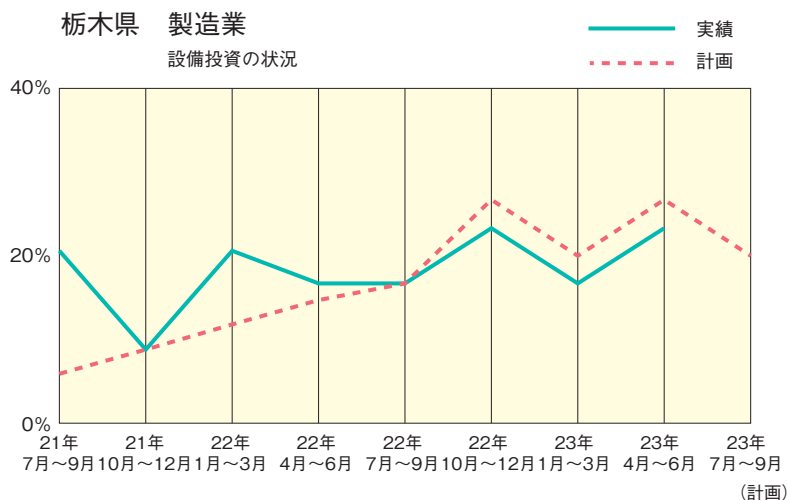


—設備投資の状況—

今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合が26.7%に対し、実績は23.3%であった。

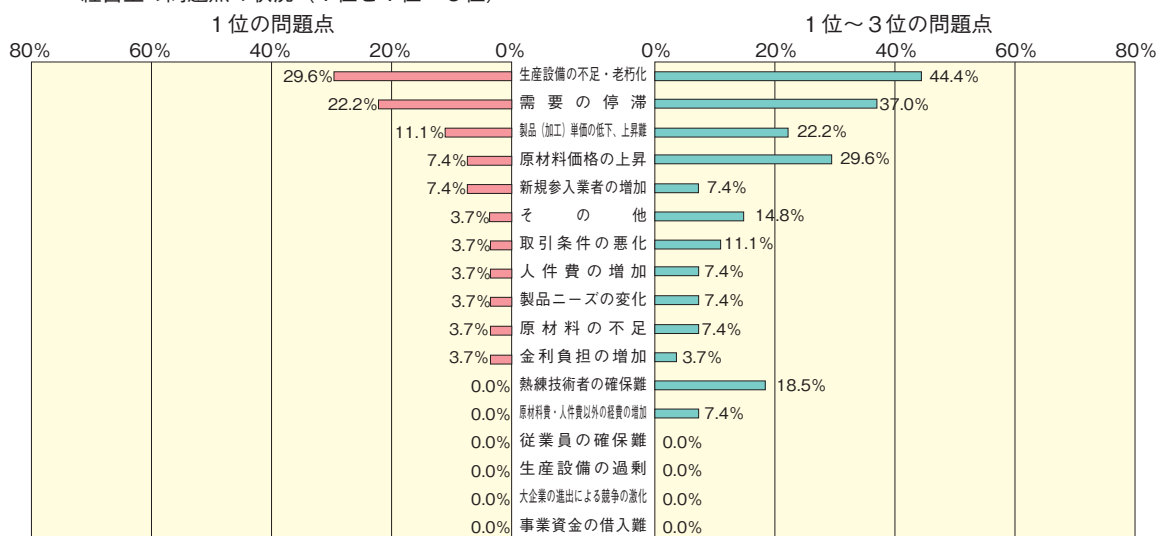
来期に設備投資を計画している企業は20.0%である。

設備投資の状況 図6



—経営上の問題点—

栃木県 製造業 経営上の問題点の状況 図7



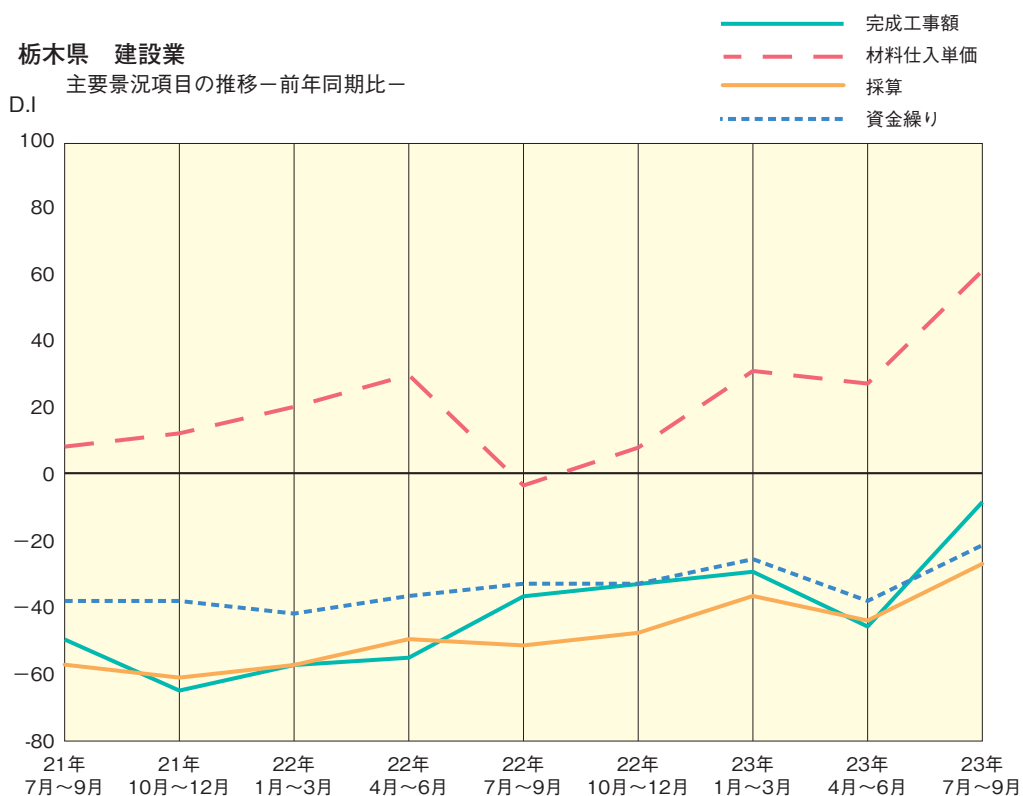
1位の問題点を見ると、「生産設備の不足・老朽化」が最も多く29.6%となっている。また、「需要の停滞」「製品(加工)単価の低下、上昇難」が上位にあげられている。

3. 建設業の景況

—主要景況項目の推移—

「受注量の減少からか、売上額、採算ともに悪化」

建設業 主要項目の推移（前年同期比） 図8



「売上額(完成工事額)」は前期比-16.5ポイント（-29.7ポイント→-46.2ポイント）と、上昇傾向から悪化に転じた。また、「採算（経常利益）」についても、前期比-7.4ポイント（-37.0ポイント→-44.4ポイント）低下した。

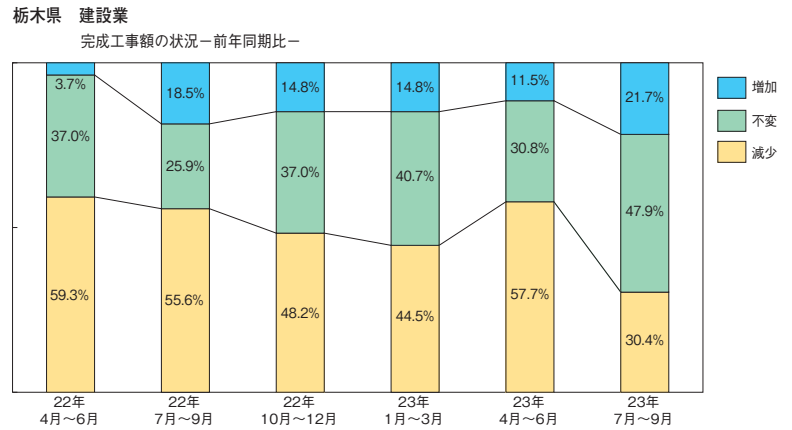
来期の見通し（D I 値）では、「売上額(完成工事額)」「採算（経常利益)」「資金繰り」で好転し、持ち直しするとみているものの、「材料仕入単価」は、大幅に上昇すると予想している。

—売上額(完成工事高)—

売上額(完成工事高)の状況(前年同期比) 図9

今期D I 値の内訳を見ると、減少企業が57.7%、増加企業が11.5%で、D I 値は-46.2ポイントと、前期と比べ16.5ポイント低下した。

来期の見通しは、売上減少と予想する企業が半減(57.7%→30.4%)し、増加を予想する企業が倍増(11.5%→21.7%)することから、D I 値は-8.7ポイント(今期-46.2ポイント)と大幅増加に転じると予想している。

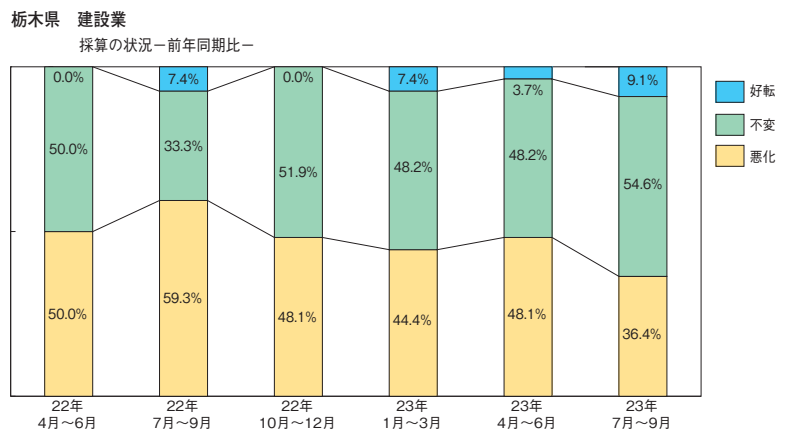


—採算(経常利益)—

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図10

今期D I 値の内訳を見ると、悪化企業が48.1%、好転企業が3.7%で、D I 値は-44.4ポイントで、前期と比べ、7.4ポイント低下した。

来期の見通しは、採算悪化と予想する企業が減少し(48.1%→36.4%)、好転を予想する企業が増加する(3.7%→9.1%)ことから、D I 値は、前期比17.1ポイントの改善を予想している。

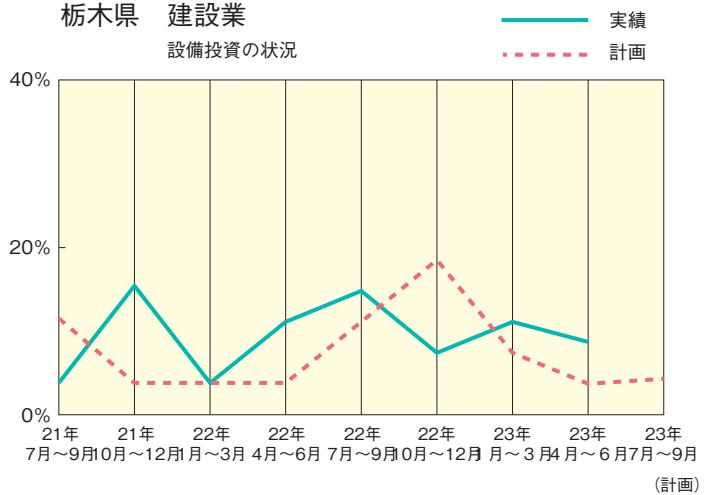


一設備投資の状況一

設備投資の状況 図11

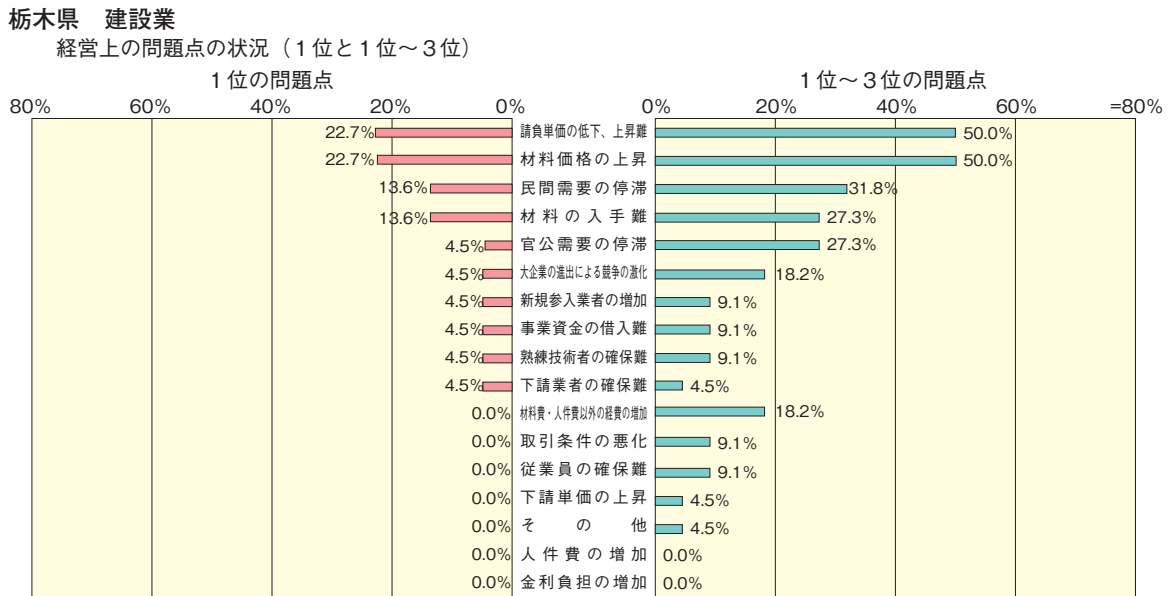
今期の設備投資の状況は、計画していた企業が3.7%、実績は8.7%で2期連続して計画を上回った。

来期に設備投資を計画している企業は4.3%である。



一経営上の問題点一

経営上の問題点の状況 図12



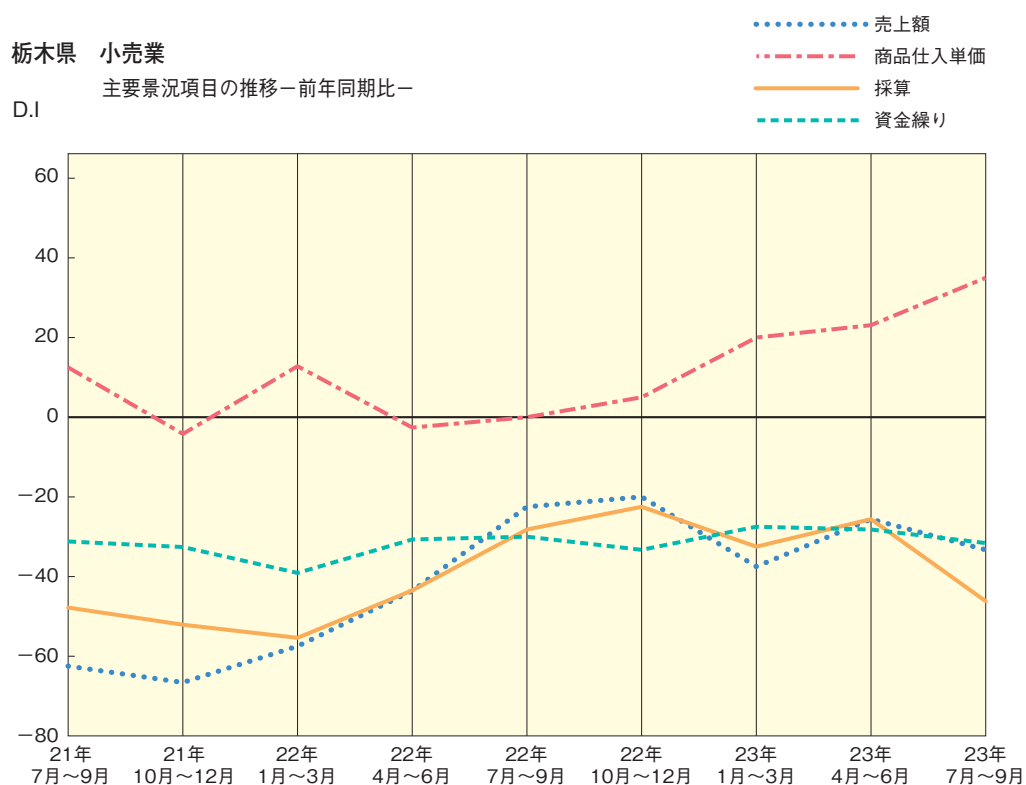
1位の問題点及び、1位～3位の問題点のいずれも、「請負単価の低下、上昇難」、「材料価格の上昇」がトップに挙げられた。次いで、「材料価格の上昇」、「民間需要の停滞」が続いている。

4. 小売業の景況

—主要景況項目の推移—

「売上額、採算ともに改善の兆し」

小売業 主要項目の推移（前年同期比）図13



「売上額」は前期比11.9ポイント（-37.5ポイント→-25.6ポイント）、「採算（経常利益）」は6.9ポイント（-32.5ポイント→-25.6ポイント）上昇し、改善の兆しがみられた。

「商品仕入単価」は前期比3.1ポイント（20.0ポイント→23.1ポイント）増加し、上昇基調にある。

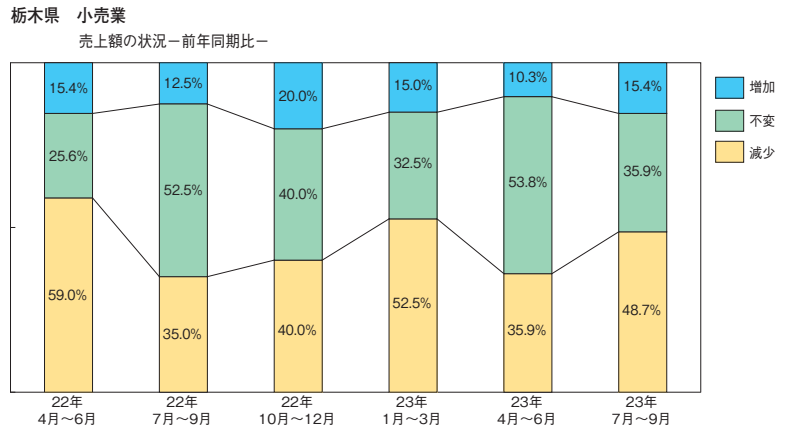
来期の見通し（D I 値）では、「商品仕入単価」の上昇は続き、「売上額」「採算（経常利益）」「資金繰り」は悪化すると予想している。

－売上額－

今期D I 値の内訳を見ると、減少企業が35.9%、増加企業が10.3%で、D I 値は-25.6ポイントで、前期と比べ、11.9ポイント上昇した。

来期の見通しは、売上減少を予想する企業が増え（35.9%→48.7%）、D I 値は-33.3ポイントと低下することから、減少傾向に転じると予想している。

売上額の状況（前年同期比）図14

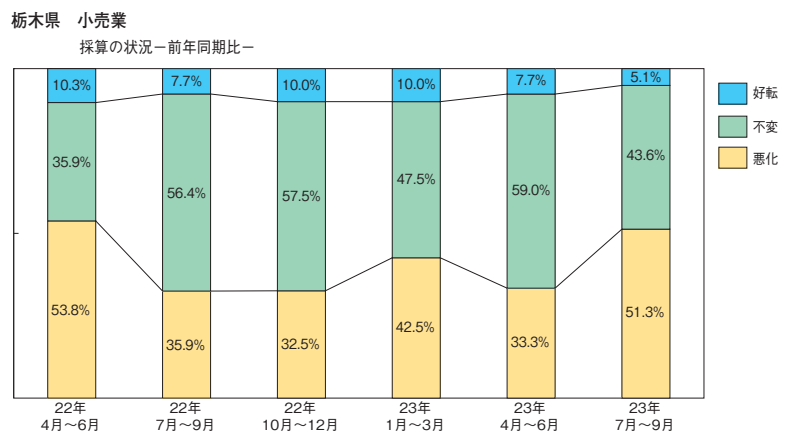


－採算(経常利益)－

今期D I 値の内訳を見ると、悪化企業が33.3%、好転企業が7.7%で、D I 値は-25.6ポイントと、前期と比べ、6.9ポイント上昇した。

来期の見通しは、悪化を予想する企業が増え（33.3%→51.3%）、D I 値は-46.2ポイントと、マイナス値が大幅に落ち込むことから、悪化に転じるものと見ている。

採算(経常利益)の状況（前年同期比）図15

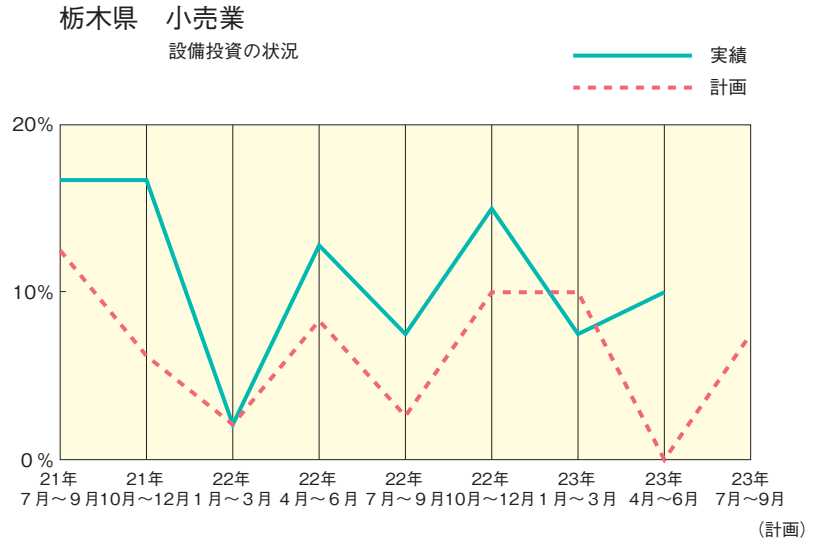


—設備投資の状況—

設備投資の状況 図16

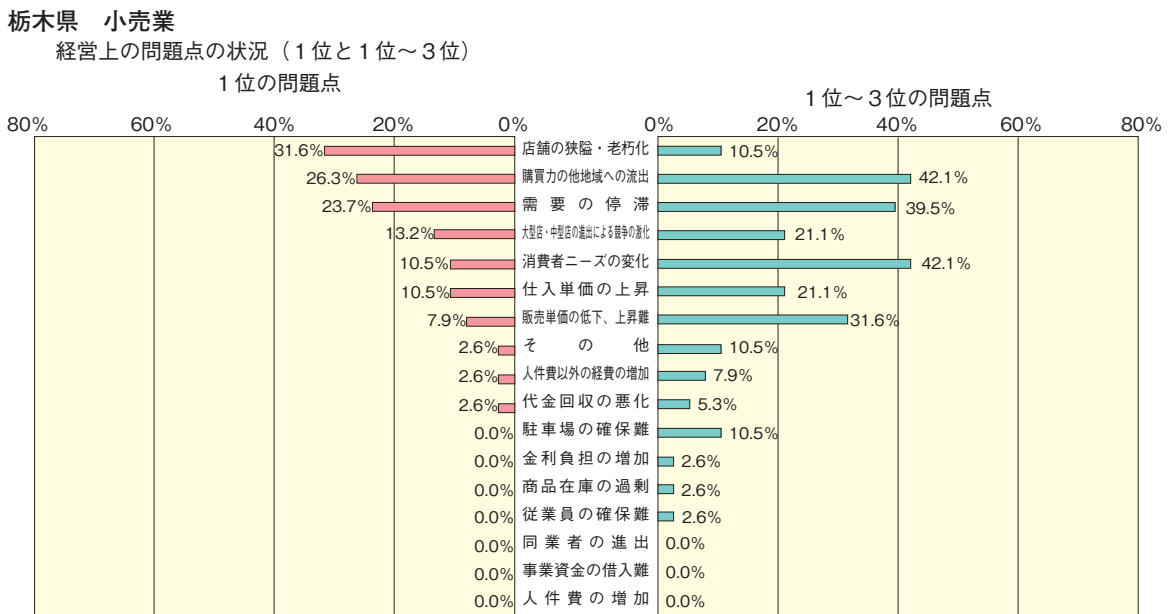
今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合0.0%に対し、実施割合は10.0%と投資意欲は旺盛であった。

来期に設備投資を計画している企業は7.5%である。



—経営上の問題点—

経営上の問題点の状況 図17



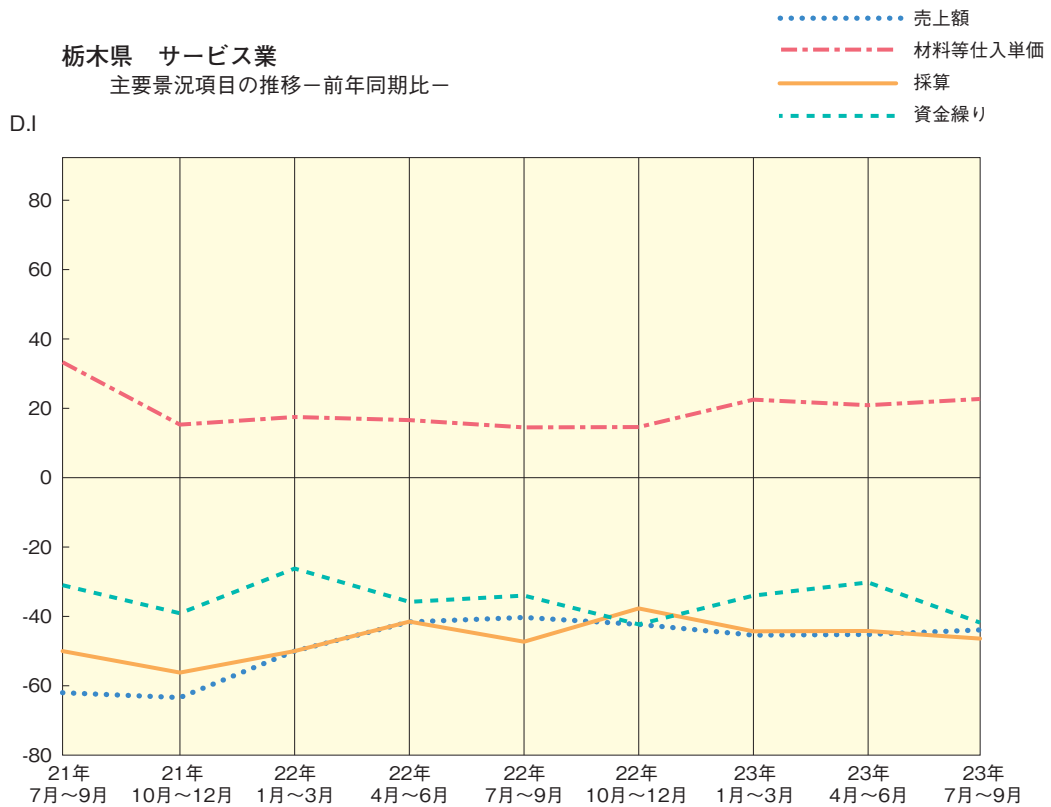
1位の問題点を見ると、「店舗の狭隘・老朽化」がトップに挙げられ、31.6%を占めている。また、1位～3位の問題点を見ると、「購買力の他地域への流出」、「消費者ニーズの変化」が同率の42.1%と上位に挙げられている。

5. サービス業の景況

ー主要景況項目の推移ー

「売上額、採算ともに停滞感がうかがえる」

サービス業 主要項目の推移（前年同期比）図18



「売上額」の前期比D I 値は0.2ポイント（-45.4ポイント→-45.2ポイント）、「採算」は前期比0.1ポイント（-44.3ポイント→-44.2ポイント）と前期と同水準で推移している。

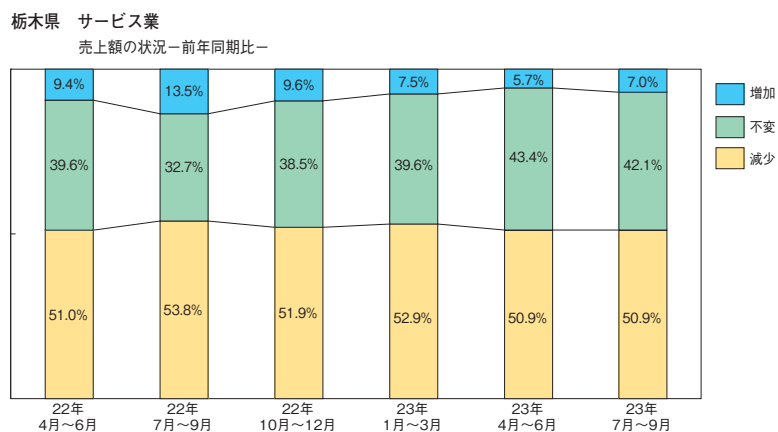
来期の見通し（D I 値）では、「売上額」「採算（経常利益）」とも動きは弱く、「資金繰り」は-41.8ポイントとマイナス幅が拡大し、悪化すると予想している。

—売上額(収入高)—

売上額(収入高)の状況(前年同期比) 図19

今期D I値の内訳を見ると、減少企業が50.9%、増加企業が5.7%で、D I値は-45.2ポイントと、前期(-45.4ポイント)と同水準であった。

来期の見通しは、売上増加と予想する企業が増える(5.7%→7.0%)ものの、D I値を見ると、今期と同水準(-45.2ポイント→-43.9ポイント)で推移する見込みである。

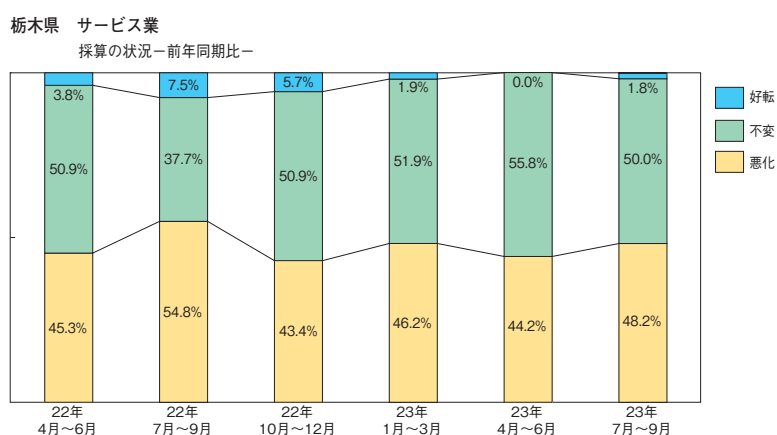


—採算(経常利益)—

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図20

今期D I値の内訳を見ると、悪化企業が44.2%、好転企業が0.0%で、D I値は-44.2ポイントであり、前期と同水準であった。

来期の見通しは、好転すると見ている企業(0.0%→1.8%)があるものの、採算悪化と予想する企業が増える(44.2%→48.2%)ことから、D I値(-44.2ポイント→-46.4ポイント)が示すように、今期よりやや悪化すると予想している。

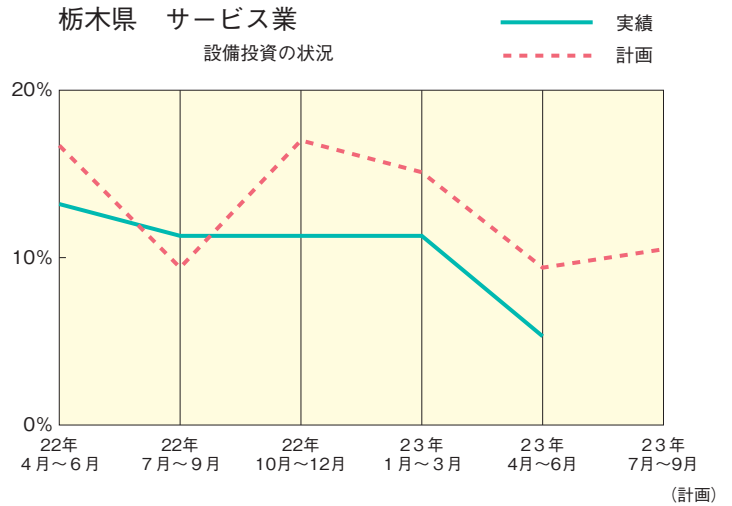


—設備投資の状況—

今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合9.4%に対し、実施割合は5.3%と3期連続して計画を下回った。

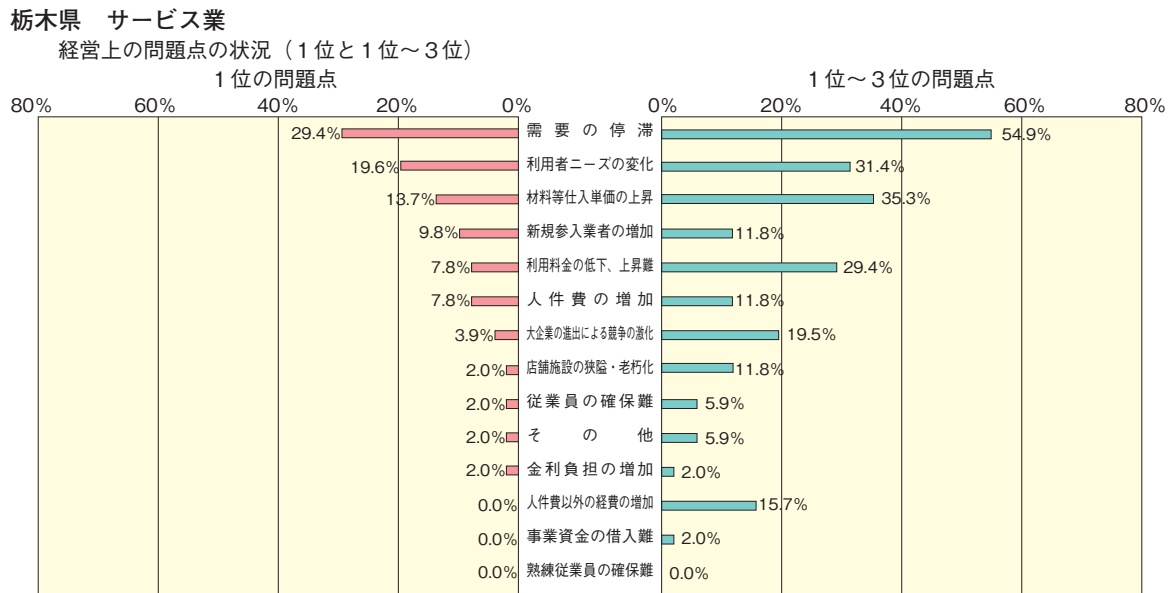
来期に設備投資を計画している企業は10.5%である。

設備投資の状況 図21



—経営上の問題点—

経営上の問題点の状況 図22



1位の問題点、及び1位～3位の問題点いずれも、「需要の停滞」がトップに挙げられている。また、1位～3位の問題点では、「材料等仕入単価の上昇」が2番目に挙げられている。

6. 調査対象事業所の内容

〈製造業〉

業種別内訳 30事業所

業種	事業所数	割合%
食料品製造業	3	10.0
飲料・飼料・たばこ製造業	1	3.3
繊維工業	0	0.0
衣服・その他繊維製品製造業	0	0.0
木材・木製品製造業	3	10.0
家具・装備品製造業	0	0.0
パルプ・紙・紙加工品製造業	0	0.0
印刷・同関連業	0	0.0
化学工業	1	3.3
プラスチック製品製造業	1	3.3
窯業・土石製品製造業	3	10.0
金属製品製造業	3	10.0
一般機械器具製造業	4	13.4
電機機械器具製造業	0	0.0
輸送用機械器具製造業	6	20.0
精密機械器具製造業	0	0.0
その他の製造業	5	16.7

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	9	30.0
3人以下～5人以下	3	10.0
6人以下～10人以下	5	16.7
11人以下～20人以下	8	26.7
21人以下～50人以下	3	10.0
51人以下～100人以下	1	3.3
101人以上	1	3.3

〈建設業〉

業種別内訳 23事業所

業種	事業所数	割合%
総合工事業	14	60.9
職別工事業	6	26.1
設備工事業	3	13.0

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	10	43.5
3人以下～5人以下	6	26.1
6人以下～10人以下	4	17.4
11人以下～20人以下	3	13.0
21人以下～50人以下	0	0.0
51人以下～100人以下	0	0.0
101人以上	0	0.0

〈小売業〉

業種別内訳 40事業所

業種	事業所数	割合%
各種商品小売業	1	2.5
織物・衣服・身の回り品小売業	2	5.0
飲食料品小売業	22	55.0
自動車・自転車小売業	1	2.5
家具・建具・じゅう器小売業	4	10.0
その他小売業	10	25.0

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	29	72.5
3人以下～5人以下	8	20.0
6人以下～10人以下	2	5.0
11人以下～20人以下	0	0.0
21人以上	1	2.5

〈サービス業〉

業種別内訳 57事業所

業種	事業所数	割合%
一般飲食業（一般・遊興）	18	31.6
宿泊業	2	3.5
運輸業	2	3.5
自動車整備業	10	17.5
洗濯・理美容業	15	26.4
その他サービス業	10	17.5

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	36	63.2
3人以下～5人以下	13	22.8
6人以下～10人以下	7	12.3
11人以下～20人以下	0	0.0
21人以上	1	1.7

第 1 2 8 回中小企業景況調査報告書

平成 2 3 年 4 月～ 6 月期報告

平成 2 3 年 7 月～ 9 月期予想

平成 2 3 年 8 月発行

編集：栃木県商工会連合会 顔晴る企業応援課

発行所：栃木県商工会連合会 栃木県宇都宮市中央 3 丁目 1 番 4 号

TEL 028-637-3731 FAX 028-637-2875

印刷所：(株)松井ピ・テ・オ・印刷
